20番 岡元 浩一 議員

1 障がい者雇用支援について

- (1) 9月は障がい者雇用支援月間である。身体的及び知的（精神）な障害のいかんにかかわらず健常者と一緒に働く機会を持つことには人生の中で大きな財産となる。以下の点について回答を求める。
- ① 市内で障がい者を雇用している民間企業などの雇用状況（雇用主数及び就業者数）等を示されたい。
 - ② 公的機関における障がい者の雇用状況を示されたい。
 - ③ 農福連携の推進状況を示されたい。
 - ④ 就労継続支援A型及びB型の施設における就業状況は障がい者の意向に沿っているか現状の課題を含めて示されたい。
 - ⑤ 一人の人間として認める啓発に取り組む考えを示されたい。

2 国防（自衛隊）と市民生活の共存共栄について

- (1) 平成27年「空中給油機KC130」、令和4年からの「米軍無人機MQ-9」そして今回、「滞空型UAV（シーガーディアン）」と鹿屋市を取り巻く防衛環境は大きく変化してきた。国防の名のもとに1億2千万人を守るため、鹿屋市民9万7千人のリスクは高くなった。これまで多くの市民が海上自衛隊鹿屋航空基地と共に歩んできたが、これからの国防は予断を許さない現状化にある。市長は米軍の基地化は認めないと言われてきたが、馬毛島の本格稼働と合わせ考えると鹿屋市民を守る強固な施策が必要と考えるが、市長の見解を示されたい。